

IV 検査情報

検査情報

1. ウイルス検査情報（大阪府・大阪市・堺市）

1) 平成 24 年検出ウイルス

平成 24 年 1 月から 12 月の間に大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課、大阪市立環境科学研究所調査研究課微生物保健グループ、堺市衛生研究所微生物グループにおいて検査を行った検体総数は、2,440 件であり、うちウイルスを検出した陽性検体数は、1,241 件で、陽性率 50.9%であった。

ウイルスの検出総数は 1,390 例であり、平成 23 年の検出総数 1,755 件に比べ、20.8%減少した。検出数の減少は、陽性率が平成 23 年の 51.7%に比べてやや低いが、検体数が平成 23 年の 2,954 件に比べ、17.4%減少したことの影響が大きいと考えられた。

(1) 月別ウイルス検出数

表 1 に平成 24 年に大阪府・大阪市・堺市で検出されたウイルスを月別に示す。

年間で最も多く検出されたウイルスは、ライノウイルス 246 例であり、次いで、インフルエンザウイルスの 185 例、ノロウイルス 179 例、RS ウイルス 134 例、パラインフルエンザウイルス 106 例、エンテロウイルス 99 例、ヒトメタニューモウイルス 87 例、アデノウイルス 71 例の順であった。また、風しんウイルスが 70 例検出された（表 1）。

ライノウイルスは、5 月が 45 例で最も多く、次いで、6 月 39 例、4 月 31 例、10 月 26 例と続いた。年間を通じて検出されたが、初夏、および秋季に高い 2 峯性のピークを示し、1 月 2 月は少ない傾向を示した。

インフルエンザウイルスの中では、A H 3（香港）亜型が 140 例と最も多かった。平成 23/24 年インフルエンザシーズンは 1 月から 3 月に 114 例の検出があり、平成 24/25 年シーズンは、インフルエンザの流行が遅く始まったため、12 月の 15 例を含め、10 月以降の検出数は 19 例であった。次いで B 型が 41 例と多く、平

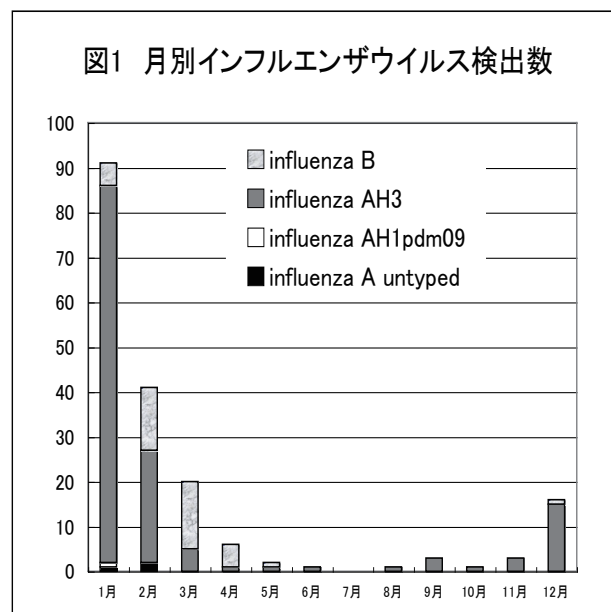
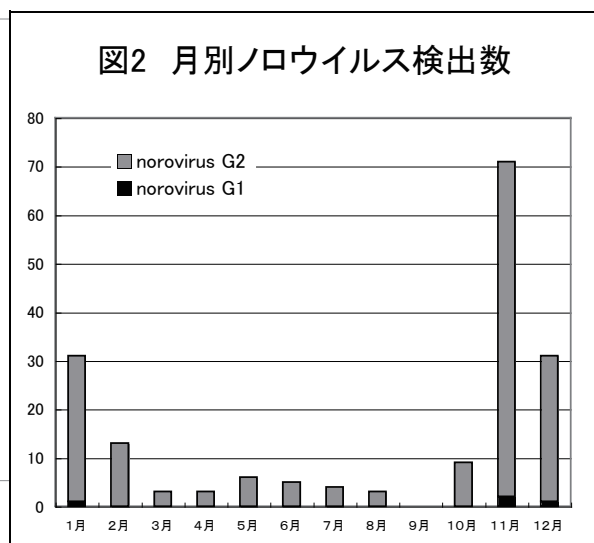


表1 月別ウイルス検出数 (2012.1～12)

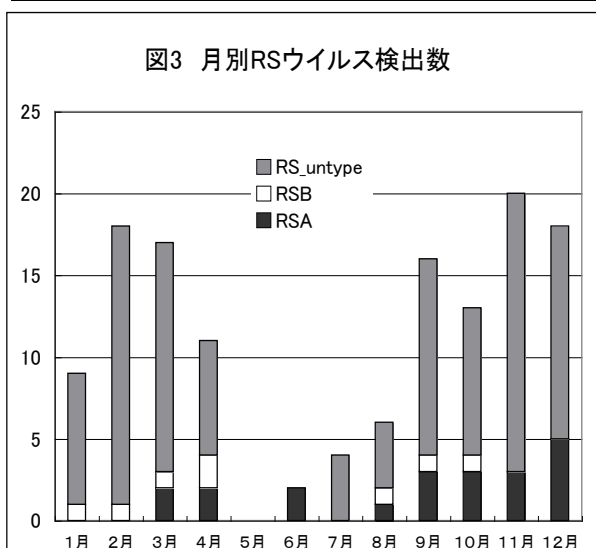
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
adenovirus 1			1			3	2				1	1	8
adenovirus 2	1		1	1	3	3	2		1	4	4	6	26
adenovirus 3						1	1		1				3
adenovirus 4								1		1	3	3	8
adenovirus 5	1					2	1			1			5
adenovirus 6			1	1							1		3
adenovirus 31						1							1
adenovirus 40/41	3	2	1		2	1		2			2		13
adenovirus 54										2			2
adenovirus untype							2						2
hCoV-OC43			1	5	2	2	3	1	1	1		5	21
hCoV-NL63			2	4		1				3		1	11
hCoV229E		1	2	2								2	7
hCoV-HKU1	4	1											5
hMPV	5	13	18	30	14	2				1		4	87
hBoV	3		4	9	20	12	4	1		1	2	1	57
RSA			2	2		2		1	3	3	3	5	21
RSB	1	1	1	2				1	1	1			8
RS untype	8	17	14	7			4	4	12	9	17	13	105
influenza AH1pdm09	1												1
influenza AH3	84	25	5	1	1	1		1	3	1	3	15	140
influenza B	5	14	15	5	1							1	41
influenza A untyped	1	2											3
parainfluenzavirus 1	1	2		1	1		5	2	3	4	1		20
parainfluenzavirus 2						1	3	1	4	3		1	13
parainfluenzavirus 3					2	45	23	2	1				73
rhinovirus	7	5	23	31	45	39	17	11	12	26	15	15	246
coxsackievirus A 2			1				1		1				3
coxsackievirus A 4						2	5						7
coxsackievirus A 5				1									1
coxsackievirus A 8							1						1
coxsackievirus A 9						1	3	2	2	2	1		11
coxsackievirus A16		1											1
coxsackievirus B 2											1		1
coxsackievirus B 3							1						1
coxsackievirus B 5						1			3				4
echovirus 6							4		1	3		1	9
echovirus 7					2	2	6	16	8	2			36
echovirus 9							1	5	1				7
echovirus 18			1		2	1			1				5
echovirus 20					1								1
echovirus 25							1						1
echovirus 30										2			2
enterovirus71							3	1		4			8
poliovirus 2				1	1								2
poliovirus 3						1							1
HAV						1							1
norovirus G1	1										2	1	4
norovirus G2	30	13	3	3	6	5	4	3		9	69	30	175
sapovirus	1		4	4	5	1		1	1		2		19
astrovirus	1	2		2	3	3							11
rotavirus A	6	4	9	12	11	5		1				1	49
dengue virus1			1					2		1		2	6
dengue virus2		1	1	1							2		5
Human herpesvirus 6	1				2					1	1	1	6
Herpes simplex virus		1								1			2
varicella zoster virus								1		1			2
Mumps			1	1		2					1		5
Rubella	8	2		3	9		8	17	16	4	2	1	70
ParvoB19			2							1			3
計	173	107	114	129	133	141	105	77	76	92	133	110	1390

成 22/23 年シーズンの 1 月から 4 月に計 39 例検出された。一方、A H 1 p d m (09) 亜型 は、1 月に 1 例、A 型 (亜型不明) は、1 月と 2 月合わせて 3 例の検出であった。また、平成 23 年と同じく A H 1 (ソ連) 亜型の検出はなかった。(図 1)

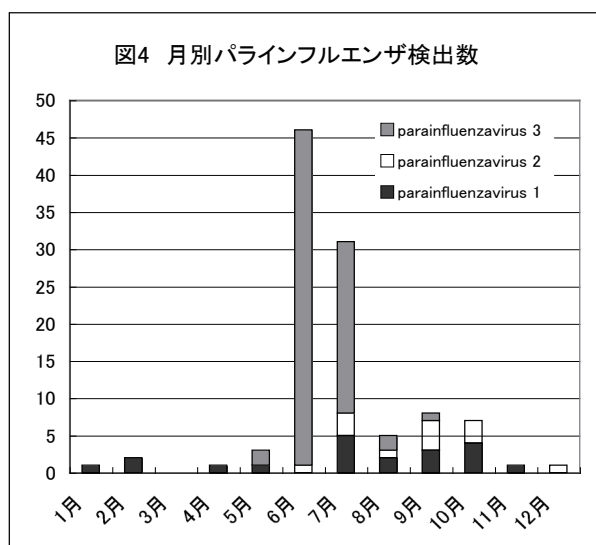
ノロウイルスは、平成 24 年 11 月および 12 月冬季の感染性胃腸炎流行シーズンにノロウイルス G II 型の大きな流行があった。そのためノロウイルス G II 型が 11 月に 69 例、次いで 12 月に 30 例検出された。また、平成 23/24 年シーズンでは 1 月に 30 例、2 月に 13 例検出された。一方、ノロウイルス G I 型は年間 4 例の検出であった。(図 2)



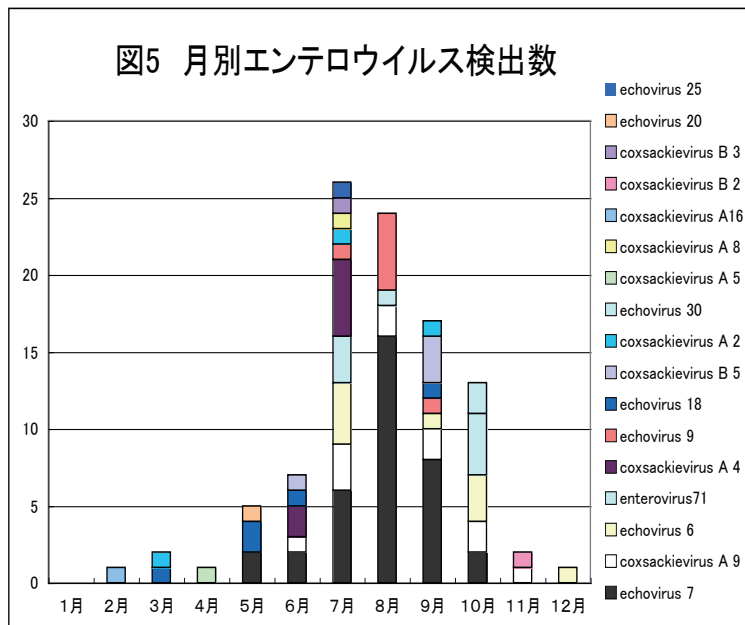
R S ウイルスは、11 月の 20 例が最も多く、次いで 2 月と 12 月の 18 例、3 月 17 例、9 月の 16 例であり、検出例のない 5 月を含む初夏を境に晩冬から春と、秋から冬にかけての検出数が多かった。また、9 月に検出数が多くみられる傾向が昨年から 2 年連続でみられた。(図 3)



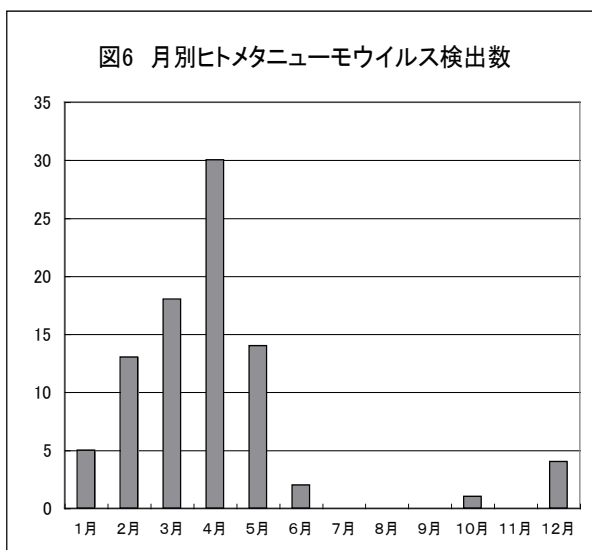
パラインフルエンザウイルスの中では、パラインフルエンザウイルス 3 型が 73 例と最も多く、6 月 45 例と 7 月 23 例の 2 ヶ月で 93% が検出された。次いで、1 型はほぼ年間を通じて 20 例みられたが、7 月から 10 月にやや多く検出された。2 型は 13 例のほとんどが 6 月から 10 月の間に検出された。(図 4)



エンテロウイルスは、7月に26例、次いで8月24例、9月17例、10月13例であり、7月から10月の4カ月間にほぼ8割が検出された。エンテロウイルスの中では、エコーウイルス7型が36例と多く、8月16例を主に、5月から10月の間に全て検出された。次いでコクサッキーウイルスA9型が6月から11月に11例、また、エコーウイルス6型9例、エンテロウイルス71型8例、コクサッキーウイルスA4型およびエコーウイルス9型それぞれ7例が検出された。(図5)



ヒトメタニューモウイルスは、年間検出数87例のうち、4月30例、3月18例等、2月から5月の間に85%以上が検出された。(図6)



アデノウイルスでは、年間71例中、2型26例 36.6% (うち10月から12月に14例、5月から7月に8例)、40/41型13例 18.3%が多く検出された。

風しんウイルスは、3月と6月を除く月で計70例検出され、8月17例と9月16例に多かった。

月別のウイルス検出数では、1月173例が最も多く、インフルエンザウイルス91例、うちA H 3 (香港) 亜型84例、ノロウイルスG II型30例等が検出された。次に検出数の多い月は、6月の141例で、5月と11月133例、4月129例がこれに続いた。6月は、パラインフルエンザウイルス46例うち3型が45例、ライノウイルス39例、アデノウイルス11例が多かった。5月は、ライノウイルス45例、ヒトボカウイルス20例、ヒトメタニューモウイルス14例、A群ロタウイルス11例の順であった。11月は、ノロ

表2 年齢別ウイルス検出数 (2012.1～12)

年齢(才)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15以上	不明	計
adenovirus 1	3	4		1										8
adenovirus 2	5	13	2	2		1					1		1	25
adenovirus 3				2		1								3
adenovirus 4		1	3	1		1			1		1		1	9
adenovirus 5	1	2	1										1	5
adenovirus 6	1	1	1											3
adenovirus 31		1												1
adenovirus 40/41	6	3		2	1						1			13
adenovirus 54												2		2
adenovirus untype	1	1												2
hCoV-OC43	7	9		2	1							1		20
hCoV-NL63	5	4		1	1									11
hCoV229E	1	1	2	2					1					7
hCoV-HKU1	5													5
hMPV	35	20	11	5	7		2		1		3	1	2	87
hBoV	24	21	5	1	1	1					1		3	57
RSA	7	6	3	2	1						2			21
RSB	1	5	2											8
RS untype	41	30	10	6	8	1	2			1		1	5	105
influenza AH1pdm09												1	0	1
influenza AH3	7	6	2	6	11	10	8	10	12	5	33	29	1	140
influenza B		4	1	4	5	2	1	5	1	2	8	7	1	41
influenza A untyped				2					1					3
parainfluenzavirus 1	2	8	5	3									2	20
parainfluenzavirus 2	4	3		3		1		1		1				13
parainfluenzavirus 3	33	22	8	4	1	1					1	1	2	73
rhinovirus	129	58	14	12	7	2	7	4	1	1	5	1	5	246
coxsackievirus A 2		2				1								3
coxsackievirus A 4	2	3	1			1								7
coxsackievirus A 5										1				1
coxsackievirus A 8						1								1
coxsackievirus A 9	3	4	1	1							1	1		11
coxsackievirus A16				1										1
coxsackievirus B 2	1													1
coxsackievirus B 3			1											1
coxsackievirus B 5	4													4
echovirus 6	2			4	1			1			1			9
echovirus 7	23		3		2			3			4		1	36
echovirus 9	3		1			1	1					1		7
echovirus 18	3										2			5
echovirus 20					1									1
echovirus 25	1													1
echovirus 30	2													2
enterovirus71	3		1					4						8
poliovirus 2	1	1												2
poliovirus 3		1												1
HAV												1		1
norovirus G1	1	2			1									4
norovirus G2	28	68	21	14	6	7	7	2	6	1	7	8		175
sapovirus	3	3	4	1	2	2	1				2		1	19
astrovirus	3	4	2			1							1	11
rotavirus A	5	23	6	2	2	3	1	2	2		2		1	49
dengue virus1												6		6
dengue virus2												5		5
Human herpesvirus 6	1	3	2											6
Herpes simplex virus				1		1								2
varicella zoster virus											2			2
Mumps		1		1			1				2			5
Rubella	1			1							1	67		70
ParvoB19					2						1			3
計	408	338	113	87	61	39	35	28	26	12	82	133	28	1390

ウイルス71例、うち、GⅡ型69例が最も多く、次いでRSウイルス20例、ライノウイルス15例であった。4月は、ライノウイルス31例、ヒトメタニューモウイルス30例、A群ロタウイルス12例であった。

(2) 年齢群別ウイルス検出数 (表2)

年齢群別で最も多くウイルスが検出されたのは1歳未満の408例であった。次いで1歳の338例、2歳の113例と続いた。15歳以上も133例と多かった。

1歳未満で最も多く検出されたウイルスは、ライノウイルスの129例、続いて、RSウイルス49例、エンテロウイルスの47例、うちエコーウイルス7型が23例、パラインフルエンザウイルス39例、うち3型33例、ヒトメタニューモウイルス35例、ノロウイルス29例、うちGⅡ型28例であった。1歳ではノロウイルス70例、うちGⅡ型68例が最も多く検出された。次いでライノウイルス58例、RSウイルス41例、パラインフルエンザウイルス33例、うち3型22例、アデノウイルス26例、うち2型13例の順で多かった。また、ヒトボカウイルス(1歳未満24例、1歳21例)、コロナウイルス(18例、14例)も、1歳未満および1歳で検出数が多かった。

2歳は、ノロウイルス21例すべてGⅡ型が最も多く検出された。次いでRSウイルス15例、ライノウイルス14例、パラインフルエンザウイルス13例の順であった。

その他の年齢群では、インフルエンザウイルス検出例の占める割合が大きいが、15歳以上で風しんウイルスが67例と検出ウイルスの50%以上を占めた

ポリオウイルスは、1歳未満で2型2例、3型1例と3例が検出され、ワクチン接種及びワクチン接種者との接触によるものと考えられた。

2) 月別・疾患別検体数とウイルス陽性例数

(1) ウイルス陽性率

平成24年の検体総数2,440件、うちウイルスを検出した陽性検体は1,241件、陽性率50.9%であった。この中で、大阪府立公衆衛生研究所で検査を行なった検体数は567件、陽性数300件、陽性率52.9%である。大阪市立環境科学研究所および堺市衛生研究所では、

それぞれ1,390件、662件、47.6%と、483件、279件、57.8%であった。

平成24年の検体総数2,440件は、平成23年2,954件から17.4%減少した。これは、平成24年のインフルエンザの検体数が平成23年に比べ、ほぼ半減（平成24年252件/平成23年463件）したこと。また、感染性胃腸炎（440/531）、手足口病（21/181）、麻しん（81/187）等の疾患でも、検体数が大きく減少したことによるものである。平成24年の検査陽性率は、平成24年の51.7%に比べ、1.0%減の50.7%とほぼ同率であった。

(2) 月別・疾患別検体数とウイルス陽性数（表3）

検体数の多かった月は、1月の262件（全体の10.7%）であり、次いで7月の237件（9.7%）、6月233件（9.5%）、3月228件（9.3%）、11月217件（8.9%）、5月208（8.5%）の順であった。

これらの月の検体数の多い疾患をみると、1月はインフルエンザが109件で最も多く、この月の検査数の41.6%（109/262）を占めた。感染性胃腸炎52件19.8%、下気道炎33件12.5%がこれに続いた。7月は、その他63件26.6%（63/237）を除くと、下気道炎44件18.6%、無菌性髄膜炎35件14.8%、口内炎・上気道炎34件14.3%が多かった。6月は、下気道炎77件33.0%（77/233）、感染性胃腸炎32件13.7%、口内炎・上気道炎23件9.9%であった。その他の検体も66件28.3%あった。3月は、下気道炎66件28.9%（66/228）、インフルエンザ38件16.7%、感染性胃腸炎35件15.4%、その他42件18.4%、11月は、感染性胃腸炎92件、42.4%（92/217）が多く、次いで下気道炎35件16.1%であった。

月別ウイルス陽性率は、1月63.4%（166/262）が最も高く、次いで4月59.9%（103/172）、11月59.0%（128/217）、12月54.8%（97/177）、2月50.7%（104/205）であった。

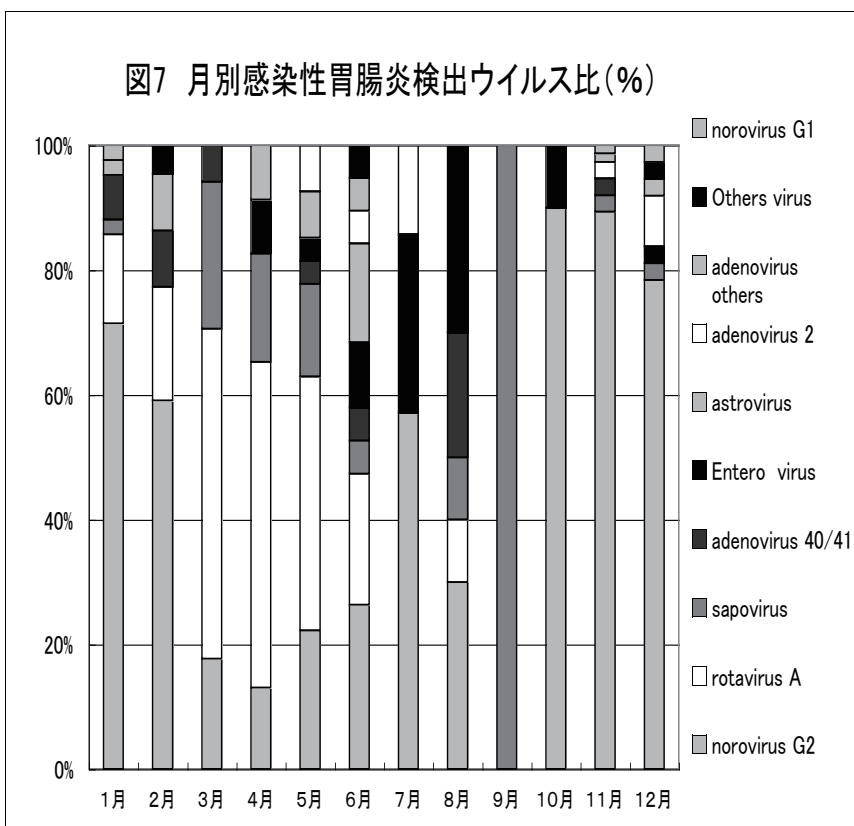
1月の陽性率が高いのは、インフルエンザ検体が41.6%（109/262）、感染性胃腸炎検体が19.8%（52/262）と、それぞれ陽性率の高い（陽性率：インフルエンザ83.5%、感染性胃腸炎78.8%）検体の割合が高かったことによるものである。4月は、下気道炎（陽性率83.6%）、感染性胃腸炎（陽性率65.6%）、11月は、感染性胃腸炎（陽性率81.5%）、下気道炎（陽性率74.3%）、12月は、インフルエンザ（陽性率85.0%）、感染性腸炎（陽性率58.3%）、下気道炎（陽性率71.4%）と検出率の高い検体の割合が高かった。

(3) 疾患別検体数およびウイルス陽性率 (表 3)

疾患別検体数は、下気道炎 540 件 (構成比 22.1%) が最も多く、以下、感染性胃腸炎 440 件 (18.0%)、インフルエンザ 252 件 (10.3%)、口内炎・上気道炎 183 件 (7.5%)、次いで、無菌性髄膜炎 177 件 (7.3%) であった。その他の検体も 535 件 (21.9%) を占めた。

下気道炎で、最も検体の多い月は、6月の77件(構成比14.3%)であった。次いで3月66件(12.2%)、4月61件(11.3%)の順で、3月から6月の4ヶ月間に年間検体の47.4%(256/540)を占めた。8月23件(4.3%)、9月27件(5.0%)および12月28件(5.2%)は、検体が少なかった。下気道炎から検出されたウイルスは、ライノウイルス165件が43.1%(165/383)であり。次いで、RSウイルスが86件22.5%、パラインフルエンザウイルス75件19.6%、うち3型56件、ヒトメタニューモウイルス71件18.5%、ヒトボカウイルス41件10.7%と続いた。その他、ヒトコロナウイルス29件、(うちOC43が14件)が検出された。

感染性胃腸炎は、11月の検体が92件(20.9%)と多く、次いで12月60件(13.6%)、1月52件(11.8%)であった。最も少ない9月10件(2.3%)をはじめ、7月から10月は検体が少なかった。検出されたウイルスは、ノロウイルスが175件62.7%(175/279)、うちGII型172件が最も多く検出された。次いで、A群ロタ



ウイルス47件16.8%であった。その他、アデノウイルス24件8.6%、うち40・41型12件、2型9件、サポウイルス19件6.8%が検出された。(図7)

インフルエンザは、1月の検体が109件(43.2%)と際立って多く、次いで2月の62件(24.6%)、3月38件(15.1%)で、1月から3月の検体、計209件で年間の82.9%を占めた。検出されたウイルスは、AH3亜型(A香港型)140件が最も多く、検出ウイルスの74.5%(140/188)を占めた。次いで、B型40件(21.3%)であり、AH1pdm(09)亜型は、1件、AH1亜型(Aソ連型)は検出されなかった。

口内炎・上気道炎は、7月の検体34件18.5%が最も多く、次いで6月の23件12.6%であった。検出されたウイルスは、ライノウイルス31件が最も多く、34.1%(31/91)を占めた。次にパラインフルエンザウイルス21件23.1%、うち3型12件、ヒトボカウイルスおよびコロナウイルス13件14.3%、RSウイルス10件11.0%の順であった。

無菌性髄膜炎の検体数が多い月は、7月35件19.8%、8月27件15.3%、9月21件11.9%の順で、検出されたウイルスは、エンテロウイルスが41件で、検出ウイルスの85.4%(41/48)を占め、うちエコーウイルス7型が16件33.3%、エコーウイルス6型7件14.6%であった。

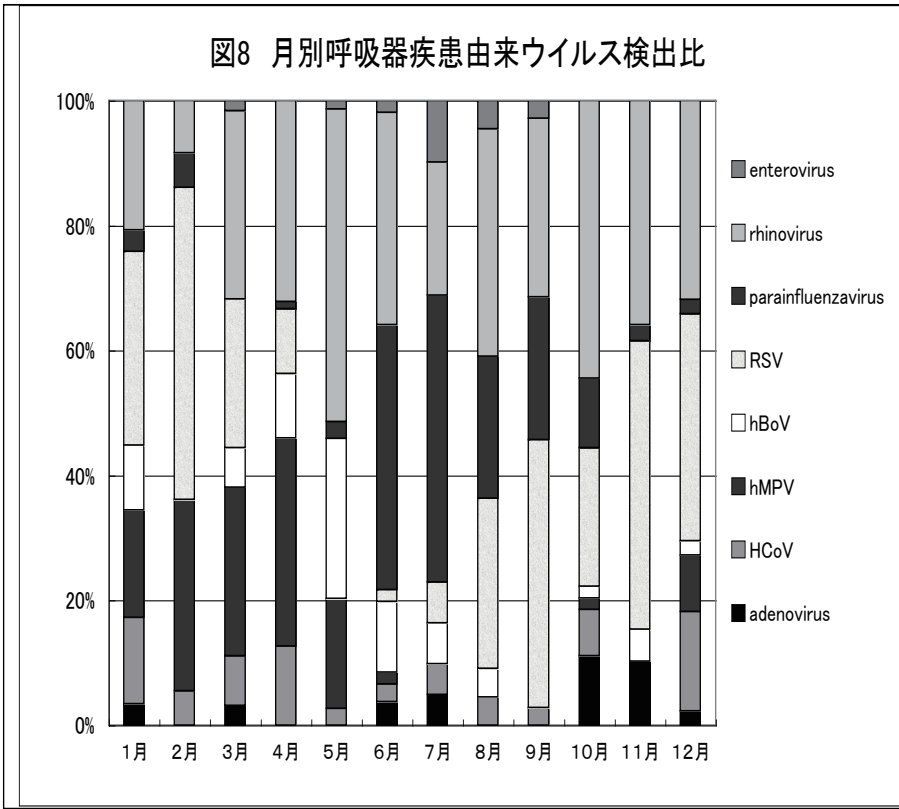
疾患別検体のウイルス陽性率は、検体数の多い疾患では、インフルエンザ(74.6%)が最も高く、次いで、RSウイルス感染症(73.8%)、下気道炎(70.9%)、感染性胃腸炎(63.4%)、咽頭結膜熱(63.0%)の順であった。また、口内炎・上気道炎(49.7%)も、50%近い検出率があった。

RSウイルス感染症では、陽性検体31件中RSウイルスが26件、83.9%(26/31)であった。咽頭結膜熱では、陽性検体17件中、アデノウイルスが11件で、検出ウイルスの64.7%(11/17)を占め、うちアデノウイルス2型、4型がそれぞれ4件であった。その他、ライノウイルス5件29.4%が検出された。

麻しんは、陽性率40.7%であったが、麻しんウイルスの検出例はなく、風しんウイルスが、陽性33検体中32件、97.0%を占めた。

一方、検出率の低い疾患は、脳症・脳脊髄炎(7.6%)が最も低く、次いで、無菌性髄膜炎(27.1%)、ヘルパンギーナ(32.4%)の順であった。手足口病は、昨年(平成23年)には大きな流行を示し、検体の多くからコクサッキーウイルスA6型が検出された。しかし、平成24年は、検体数は88.4%減少し、陽性率も(33.3%)と低かった。検出されたウイルスは、エンテロウイルス71型4件、コクサッキーウイルスA16型、エコーウイルス9型、18型、各1件であった。

下気道炎、口内炎・上気道炎およびその他の疾患の中の呼吸器症状を呈した疾患から平成24年に検出されたウイルスの月別の検出比率を図8に示した。年間を通じて検出比の高いウイルスはライノウイルスであった。ライノウイルスの検出比率は、5月と10月に40%を超えており、5月をピークに春季と、10月をピークに秋から冬に検出数が増し、検出比率が高くなっていた。また、ウイルスの総検出数の少ない8月や1月、2月は、検出比率が高くなる傾向があった。RSウイルスは、5月を除いて検出され、検出比率は、2月に50%となった。また、9月と11月にも検出比率は40%を超え、2月と3月の冬季と9月から11月、12月の秋から冬季にかけて検出比率が高くなった。RSウイルスの検出比率が秋に高くなる傾向は平成23年に初めてみられたが、平成24年も同じ傾向であった。パラインフルエンザウイルスは、5月から8月にかけて比較的検出比率の高い月が続いた。ヒトボカウイルスは年間を通じて検出されたが、4月から5月に比率が高く、また、12月にも比較的比率が高くなっていた。ヒトメタニューモウイルスは、2月から4月に検出率が高かった。



3) 検体の種類別および各疾患における検体別ウイルス陽性率(表 4)

(1) 検体の種類別

検体の種類別では、鼻汁・鼻腔拭い液 741 件 (構成比 30.4%) が最も検体数が多かった。以下、糞便 605 件 (24.8%)、咽頭拭い液 541 件 (22.2%)、髄液 212 件 (8.7%)、うがい液 102 件 (4.2%)、血液・血清 97 件 (4.0%)、尿 70 件 (2.9%)、喀痰・気管吸引液 53 件 (2.2%) の順であった。それぞれのウイルス検出陽性率は、喀痰・気管吸引液が最も高く 64.2% (34/53)、次いで鼻汁・鼻腔拭い液 62.6% (464/741)、うがい液 56.9% (58/102)、糞便が 52.4% (317/605)、咽頭拭い液 52.3% (283/541) であった。髄液は、無菌性髄膜炎と診断された患者検体の主要な検体であるが、ウイルス陽性率は、疾患全体で 11.8% (25/212)、無菌性髄膜炎で 18.9% (21/111) と低かった。

(2) 疾患別

検体数の多い疾患について検体の種類をみると、最も多い下気道炎の検体では、鼻汁・鼻腔拭い液が、72.6% (392/540) を占め、陽性率は 75.5% (296/392)、次いで、咽頭拭い液 12.8% (69/540)、陽性率 65.2%、喀痰・気管吸引液 6.9% (37/540)、陽性率 73.0% であった。感染性胃腸炎は、糞便検体が 94.8% (417/440) を占め、陽性率 65.2% であった。インフルエンザは、咽頭拭い液が 48.0% (121/252)、陽性率 90.9% (110/121)、うがい液 25.4% (64/252)、陽性率 56.3% (36/64)、鼻汁・鼻腔拭い液 21.4% (95/483)、陽性率 72.2% (39/54) であった。口内炎・上気道炎では、鼻汁・鼻腔拭い液が、52.4% (96/183)、陽性率 63.5% (61/96)、咽頭拭い液 33.9% (62/183)、陽性率 37.1% (23/62) であった。無菌性髄膜炎では、髄液検体 94.9% (111/177)、陽性率 18.9% (21/111)、糞便 20.9% (37/177)、陽性率 51.4% (19/37)、咽頭拭い液が 10.2% (18/177)、陽性率 38.9% (7/18) であった。

(文責：後藤)

表3 月別・疾患別検出数とウイルス陽性数

疾患名/月	1	2	3	4	5	6	7	8
インフルエンザ	109(91) AH_unctype(1),AH1pdm09(1),AH3(84),B(5),Rhino(1) <<2重複1>>	62(42) AH_unctype(2),AH3(25),B(14),Rhino(1)	38(20) AH3(5),B(14),Rhino(1)	8(7) AH3(1),B(5),RSA(1)	2(2) AH3(1),B(1),Rhino(1) <<2重複1>>	2(1) AH3(1)		1(1) AH3(1)
咽頭結膜熱	3(1) Ad2(1)	1(1) HSV_unctype(1)		1(1) Ad6(1)	4(3) Rhino(3)	2(1) Rhino(1)	2(1) Ad1(1)	1(0)
感染性胃腸炎	52(41) Ad40/41(3),Astro(1),NVG1(1),NVG2(30),RotaA(6),Sapo(1) <<2重複1>>	35(22) Ad40/41(2),Astro(2),NVG2(13),Rhino(1),RotaA(4)	35(17) Ad40/41(1),NVG2(3),RotaA(9),Sapo(4)	32(21) Astro(2),CA5(1),NVG2(3),polio2(1),RotaA(12),Sapo(4) <<2重複2>>	39(25) Ad2(2),Ad40/41(1),Astro(2),NVG2(6),RotaA(11),Sapo(4),Polio2(1) <<2重複2>>	32(17) Ad2(1),Ad31(1),Ad40/41(1),Astro(3),NVG2(5),PIV3(1),RotaA(4),Sapo(1),CA4(1),CB5(1) <<2重複2>>	14(6) Ad2(1),CA2(1),NVG2(4),CA4(1) <<2重複1>>	15(9) Ad40/41(2),CA9(1),E7(2),NVG2(3),RotaA(1),Sapo(1) <<2重複1>>
水痘		1(0) CA16(1)						1(1) VZV(1)
手足口病		1(1) CA16(1)				2(1) E18(1)	5(1) E9(1)	2(0)
ヘルパンギーナ	2(0)	1(0)	4(0)			4(2) CA4(1),E7(1)	15(3) Ad1(1),CA4(2)	8(5) Ad4(1),CA9(1),E7(3),EV71(1) <<2重複1>>
麻疹	12(8) Rubella(8)	3(2) Rubella(2)	3(0)	7(2) Rubella(2)	14(9) Rubella(9)	3(0)	9(3) Rubella(3)	12(3) Rubella(3)
流行性耳下腺炎						1(1) Mumps(1)		
脳症・脳脊髄炎	5(0)	5(0)	16(3) B(1),hMPV(1),ParvoB19(1),Ad2(1) <<2重複1>>	3(1) Ad2(1)	8(1) Astro_unctype(1)	9(1) RotaA(1)	16(1) PIV1(1)	12(0)
無菌性髄膜炎	8(0)	8(0)	13(2) Mumps(1),ParvoB19(1)	11(1) Mumps(1)	11(3) E18(2),E20(1)	10(1) Mumps(1)	35(15) CA9(1),E25(1),E6(4),E7(4),EV71(3),Rhino(2)	27(9) E7(7),E9(2)
口内炎・上気道炎	13(5) HBoV(1),HCoV-HKU1(1),hMPV(1),Rhino(1),RS_unctype(1)	15(3) HCoV-229E(1),Rhino(1),RS_unctype(1)	10(7) Ad1(1),HBoV(1),Hcov-NL63(1),Hcov-OC43(1),hMPV(1),Rhino(2),RS_unctype(1) <<2重複1>>	12(9) HBoV(2),Hcov-OC43(1),Hcov-NL63(1),hMPV(4),PIV1(1),Rhino(4),RS_unctype(1) <<2重複1>> <<3重複2>>	17(6) HBoV(2),hMPV(2),Rhino(4) <<3重複1>>	23(14) Ad2(1),E7(1),HBoV(3),Hcov-NL63(1),PIV3(5),Rhino(6) <<2重複3>>	34(19) Ad_unctype(2),CA4(1),CA8(1),E7(1),HBoV(3),Hcov-OC43(1),PIV1(3),PIV2(1),PIV3(6),Rhino(5) <<2重複1>> <<3重複2>>	11(4) Hcov-OC43(1),PIV1(1),PIV2(1),RSA(1)
下気道炎	33(16) Ad5(1),HBoV(1),Hcov-HKU1(3),hMPV(3),PIV1(1),Rhino(4),RS_unctype(7) <<2重複2>> <<3重複1>>	46(29) Hcov-HKU1(1),hMPV(11),PIV1(2),Rhino(2),RS_unctype(15),RSB(1) <<2重複3>>	66(48) Ad6(1),CA2(1),HBoV(3),Hcov-229E(2),Hcov-NL63(1),hMPV(16),Rhino(17),RSA(1),RSB(1),RS_unctype(12) <<2重複5>> <<3重複1>>	61(51) HBoV(7),Hcov-229E(2),Hcov-NL63(3),Hcov-OC43(4),hMPV(25),Rhino(21),RS_unctype(5),RSA(1),RSB(2) <<2重複13>> <<3重複3>>	52(43) E7(1),HBoV(17),Hcov-OC43(2),hMPV(9),PIV1(1),PIV3(1),Rhino(30) <<2重複16>> <<3重複1>>	77(59) Ad5(2),HBoV(8),Hcov-OC43(2),hMPV(2),PIV3(3),polio(1),Rhino(29) <<2重複19>> <<3重複2>>	44(31) Ad3(1),CA4(1),E7(1),HBoV(1),Hcov-OC43(2),PIV1(1),PIV2(1),PIV3(15),Rhino(8),RS_unctype(4) <<2重複4>>	23(12) E9(1),HBoV(1),PIV1(1),PIV3(2),Rhino(6),RS_unctype(2),RSB(1) <<2重複2>>
RSウイルス感染症	2(2) Hbov(1),hMPV(1),RSB(1) <<2重複1>>		1(0)	3(1) Rhino(1)	1(1) hMPV(1)	2(2) RSA(2)		3(2) Rhino(1),RS_unctype(1)
流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎		1(0)						
その他	23(2) HHV6B(1),Rhino(1)	26(4) Dengue2(1),hMPV(2),RS_unctype(1)	42(7) Dengue1(1),Dengue2(1),E18(1),Rhino(3),RS_unctype(1),RSA(1) <<2重複1>>	34(9) Dengue2(1),hMPV(1),Rhino(5),RS_unctype(1),Rubella(1)	60(15) Ad2(1),Ad40/41(1),E7(1),HBoV(1),HHV6_unctype(2),hMPV(2),PIV3(1),Rhino(6),Sapo(1) <<2重複1>>	66(12) Ad1(3),Ad2(1),Ad3(1),CA9(1),HAV(1),Hbov(1),PIV2(1),PIV3(1),Rhino(2)	63(15) Ad2(1),Ad5(1),CA9(2),CB3(1),PIV2(1),PIV3(2),Rhino(2),Rubella(5)	61(26) Dengue1(2),E7(4),E9(2),Rhino(4),RS_unctype(1),Rubella(14) <<2重複1>>
計	262(166)	205(104)	228(104)	172(103)	208(108)	233(112)	237(95)	177(72)
構成 (%)	10.7	8.4	9.3	7.0	8.5	9.5	9.7	7.3
陽性 (%)	63.4	50.7	45.6	59.9	51.9	48.1	40.1	40.7

注：() 陽性数、()2種類以上の検出がみられた検体数

AH3,インフルエンザA香港型;AH1,同1連型;B,同B型;Ad,アデノ;CA,コクサッキーA型;CB,同B型;E,エコー;NV,ノロ;HSV,単純ヘルペス;HHV,ヒトヘルペス;hMPV,ヒトメタニューモ;HBoV,ヒトボカ;PIV,ラインフルエンザ

9	10	11	12	計	構成 (%)	陽性 (%)	検出ウイルス
4(3)	1(1)	5(3)	20(17)	252(188)	10.3	74.6	AH_untype(3),AH1pdm09(1),AH3(140),B(40),HHV6_untype(1),Rhino(4),RSA(1) <<2重複2>>
AH3(3)	AH3(1)	AH3(3)	AH3(15),B(1),HHV6_untype(1)				
4(2)		3(1)	6(6)	27(17)	1.1	63.0	Ad1(1),Ad2(4),Ad3(1),Ad4(4),Ad6(1),HSV_untype(1),Rhino(5)
Ad2(1),Ad3(1)		Ad4(1)	Ad2(2),Ad4(3),Rhino(1)				
10(1)	24(10)	92(75)	60(35)	440(279)	18.0	63.4	Ad1(2),Ad2(9),Ad31(1),Ad40/41(12),Astro(10),CA2(1),CA4(2),CA5(1),CA9(1),CB5(1),E6(2),E7(2),NVG1(3),NVG2(172),PIV3(1),Polio2(2),Rhino(1),RotaA(47),Sapo(19),RSA(1) <<2重複11>>
Sapo(1)	E6(1),NVG2(9)	Ad1(1),Ad2(2),Ad40/41(2),NVG1(1),NVG2(67),Sapo(2)	Ad1(1),Ad2(3),E6(1),NVG1(1),NVG2(29),Sapo(1),RSA(1) <<2重複2>>				
	1(1)			3(2)	0.1	66.7	VZV(2)
	VZV(1)						
2(0)	5(4)	2(0)	2(0)	21(7)	0.9	33.3	CA16(1),E18(1),E9(1),EV71(4)
	EV71(4)						
1(1)		2(1)		37(12)	1.5	32.4	Ad1(1),Ad4(1),CA2(1),CA4(3),CA9(1),CB2(1),E7(4),EV71(1) <<2重複1>>
CA2(1)		CB2(1)					
6(3)	7(2)	2(1)	3(0)	81(33)	3.3	40.7	Rubella(32),RSA(1)
Rubella(3)	Rubella(2)	RSA(1)					
		1(1)		2(2)	0.1	100.0	Mumps(2)
		Mumps(1)					
3(0)	6(0)	9(0)	0(0)	92(7)	3.8	7.6	Ad2(2),Astro_untype(1),B(1),hMPV(1),ParvoB19(1),RotaA(1),PIV1(1)<<2重複1>>
21(9)	16(8)	12(0)	5(0)	177(48)	7.3	27.1	CA9(3),CB5(3),E18(2),E20(1),E25(1),E30(2),E6(7),E7(16),E9(3),EV71(3),Mumps(3),ParvoB19(1),Rhino(4) <<2重複1>>
CB5(3),E6(1),E7(3),E9(1),Rhino(2) <<2重複1>>	CA9(2),E30(2),E6(2),E7(2)						
11(5)	16(8)	12(4)	9(7)	183(91)	7.5	49.7	Ad_untype(2),Ad1(1),Ad2(5),CA4(1),CA8(1),E7(3),Hcov(13),HCoV-229E(2),HCoV-HKU1(1),HCoV-NL63(4),HCoV-OC43(6),hMPV(8),HSV1(1),PIV1(5),PIV2(4),PIV3(12),Rhino(31),RS_untype(8),RSA(1),RSB(1) <<2重複9>><<3重複5>>
E7(1),PIV2(1),PIV3(1),Rhino(1),RSB(1)	Ad2(2),Hcov-NL63(1),HSV1(1),Rhino(5) <<2重複1>>	Ad2(1),Rhino(1),RS_untype(2)	Ad2(1),Hcov(1),HCoV-229E(1),Hcov-OC43(2),PIV2(1),Rhino(1),RS_untype(2) <<2重複2>>				
27(19)	48(29)	35(26)	28(20)	540(383)	22.1	70.9	Ad2(2),Ad3(1),Ad4(1),Ad5(4),Ad6(2),Aduntype(1),CA2(1),CA4(1),E7(2),E9(1),HBov(4),Hov-229E(5),Hcov-HKU1(4),Hcov-NL63(6),Hcov-OC43(14),hMPV(7),NVG2(1),PIV1(14),PIV2(5),PIV3(56),polio3(1),Rhino(165),RS_untype(73),RSA(8),RSB(5) <<2重複77>> <<3重複13>>
Hcov-OC43(1),PIV1(3),PIV2(2),Rhino(8),RS_untype(8),RSA(1) <<2重複2>><<3重複1>>	Ad2(1),Ad5(1),Hcov(1),Hcov-NL63(2),Hcov-OC43(1),hMPV(1),PIV1(4),PIV2(2),Rhino(19),RS_untype(5) <<2重複6>><<3重複1>>	Ad2(1),Ad4(1),Ad6(1),Hcov(2),NVG2(1),PIV1(1),Rhino(13),RS_untype(9),RSA(2) <<2重複3>><<3重複1>>	Hcov-229E(1),Hcov-OC43(2),hMPV(4),Rhino(9),RS_untype(6),RSA(3) <<2重複3>><<3重複1>>				
5(5)	8(7)	7(5)	10(6)	42(31)	1.7	73.8	Ad2(1),Ad4(1),HBov(1),Hcov-NL63(1),hMPV(2),Rhino(6),RS_untype(18),RSA(6),RSB(2) <<2重複5>><<3重複1>>
RS_untype(4),RSA(1)	Ad2(1),Ad4(1),RS_untype(4),RSA(2),RSB(1) <<2重複2>>	RS_untype(5)	Hcov-NL63(1),Rhino(4),RS_untype(4),RSA(1) <<2重複2>><<3重複1>>				
1(0)	3(2)		3(0)	8(2)	0.3	25.0	Ad54(2)
	Ad54(2)						
50(23)	44(9)	35(11)	31(6)	535(139)	21.9	26.0	Ad1(3),Ad2(3),Ad3(1),Ad4(1),Ad40/41(1),Ad5(1),Aduntype(1),CA9(6),CB3(1),Dengue1(6),Dengue2(5),E18(2),E7(9),E9(2),HAV(1),HBov(2),Hcov-OC43(1),HHV6B(1),HHV6_untype(4),hMPV(5),NVG1(1),NVG2(2),ParvoB19(1),PIV2(4),PIV3(4),Rhino(27),RS_untype(6),RSA(3),Rubella(38),Sapo(1) <<2重複3>>
CA9(2),E7(4),E18(1),PIV2(1),Rhino(1),RSA(1),Rubella(13)	Dengue1(1),E7(4),HHV6_untype(1),ParvoB19(1),PIV2(1),Rhino(2),RSA(1),Rubella(2)	Ad4(1),CA9(1),Dengue2(2),HHV6_untype(1),NVG1(1),NVG2(1),Rhino(1),Rubella(1)	Dengue1(2),Hcov-OC43(1),NVG2(1),RS_untype(1),Rubella(1)				
145(71)	179(81)	217(128)	177(97)	2440(1241)	100.0	50.9	
5.9	7.3	8.9	7.3	100.0			
49.0	45.3	59.0	54.8	50.9			

表4 疾患別にみた検体の種類とウイルス陽性数

疾患名/検体名	便	咽頭拭い液	うがい液	鼻汁・鼻腔拭い液
インフルエンザ AH_untype(1)	1(1)	121(110) AH_untype(2),AH1pdm09(1),Ah3(84), B(20),HHV6_untype(1),Rhino(4) <<2重複2>>	64(36) AH3(27),B(9)	54(39) AH3(28),B(10),RSA(1)
咽頭結膜熱	3(0)	23(16) Ad1(1),Ad2(4),Ad3(1),Ad4(4),Ad6(1), HSV_untype(1),Rhino(4)		1(1) Rhino(1)
感染性胃腸炎	417(272) Ad1(2),Ad2(7),Ad31(1),Ad40/41(12), Astro(10),CA4(2),CA5(1),CA9(1),CB 5(1),E6(2),E7(2),NVG1(3),NVG2(171), Polio2(2),RotaA(48),Sapo(17),RSA(1)	11(2) Ad2(1),CA2(1)		7(3) Ad2(1),PIV3(1),Rhino(1),RSA(1) <<2重複1>>
水痘				
手足口病	4(2) E9(1),EV71(1)	11(4) CA16(1),EN71(3)		4(1) E18(1)
ヘルパンギーナ	4(1) E7(1)	28(8) Ad4(1),CA4(3),CA9(1),CB2(1),E7(2),E V71(1) <<2重複1>>	1(1) CA2(1)	2(1) Ad1(1)
麻疹		24(10) Rubella(9),RSA(1)	3(3) Rubella(3)	3(2) Rubella(2)
流行性耳下腺炎		1(1) Mumps(1)		
脳症・脳脊髄炎	23(3) Ad2(1),Astro(1),RotaA(1)	9(1) hMPV(1),Ad2(1) <<2重複1>>		25(3) B(1),ParvoB19(1),PIV1(1)
無菌性髄膜炎	37(19) CA9(1),CB5(1),E18(1),E20(1),E25(1), E30(1),E6(2),E7(8),E9(2),EV71(1)	18(7) E18(1),E6(1),E7(2),EV71(1),Rhino(2)		6(1) Rhino(1)
口内炎・上気道炎	10(0)	62(23) Ad2(1),CA4(1),CA8(1),HBov(2),Hcov- OC43(3),hMPV(2),HSV1(1),PIV1(3), PIV3(3),Rhino(11) <<2重複1>><<3重複2>>	8(4) Hcov- 229E(1),PIV3(1),Rhino(2)	96(61) Ad_untype(2),Ad1(1),Ad2(4),E7(3),HB ov(9),Hcov-229E(1),Hcov- HKU1(1),Hcov-NL63(4),Hcov- OC43(3),hMPV(6),PIV1(2),PIV2(3),PI V3(7),Rhino(17),RS_untype(8),RSA(1) ,RSB(1) <<2重複8>><<3重複2>>
下気道炎	15(2) CA4(1),NVG2(1)	69(45) Ad2(2),CA2(1),HBov(6),Hcov- 229E(2),Hcov- NL63(1),hMPV(9),PIV1(1),PIV2(1),PI V3(6),Rhino(18),RS_untype(8),RSB(1) <<2重複9>><<3重複1>>	19(13) HBov(1),Hcov- 229E(1),hMPV(3),PIV1(1),PIV2(1),PIV3(3),Rhino(3),RS_untype(1) <<2重複1>>	392(296) Ad3(1),Ad4(1),Ad5(4),Ad6(2),E7(2),E9 (1),HBov(32),Hcov- 229E(2),HcovHKU1(4),Hcov- NL63(3),Hcov- OC43(12),hMPV(55),PIV1(12),PIV2(1 ,PIV3(43),Polio3(1),Rhino(128),RS_u ntype(61),RSA(8),RSB(4) <<2重複63>><<3重複9>>
RSウイルス感染症	2(0)	3(1) RS_untype(1)		32(28) Ad2(1),Ad4(1),Hcov-NL63(1), hMPV(2),Rhino(6),Rs_untype(16),RSA (6),RSB(2) <<2重複5>><<3重複1>>
流行性角結膜炎	2(0)	1(0)		
その他	87(17) Ad1(1),Ad2(2),Ad4 (1),Ad40/41(1),E18(1),E7(5),E9(1),H AV(1),NVG1(1),NVG2(2),Rhino(1),sa po(1) <<2重複1>>	160(55) Ad1(1),Ad5(1),CA9(5),CB3(1),E18(1), E7(4),E9(1),HBov(1),Hcov- OC43(1),HHV6_untype(1),hMPV(3),PI V2(2),Rhino(15),Rsuntype(3),RSA(1) rubella(15) <<2重複1>>	7(1) Rubella(1)	119(28) Ad1(1),Ad2(1),Ad3(1),CA9(1),HBov(1 ,HHV6_untype(2),hMPV(2),PIV2(2),PI V3(4),Rhino(10),Rsuntype(2),RSA(2) <<2重複1>>
計	805(317)	541(283)	102(58)	741(464)
構成(%)	24.8	22.2	4.2	30.4
陽性(%)	52.4	52.3	56.9	62.6

註：() 陽性数、()2種類以上の検出がみられた検体数

AH3,インフルエンザA香港型;AH1,同ソ連型;B,同B型;Ad,アデノ;CA,コクサッキーA型;CB,同B型;E,エコー;NV,ノロ;HSV,単純ヘルペス;HHV,ヒトヘルペス;hMPV,ヒトメタニューモ;HBov,ヒトボカ,

喀痰・気管吸引液	結膜拭い液	髄液	血液・血清	尿	皮膚拭い液・水疱	吐物	その他	計	構成 (%)	陽性 (%)
5(2) Ah3(1),B(1)	0(0)	6(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	252(188)	10.3	74.6
								27(17)	1.1	63.0
		1(0)				4(2) NVG2(1),s apo(1)		440(279)	18.0	63.4
		2(2) VZV(2)			1(0)			3(2)	0.1	66.7
		1(0)	1(0)					21(7)	0.9	33.3
			1(0)			1(1) E7(1)		37(12)	1.5	32.4
			27(8) Rubella(8)	24(10) Rubella(10)				81(33)	3.3	40.7
		1(1) Mumps(1)						2(2)	0.1	100.0
3(0)		23(0)	6(0)	3(0)				92(7)	3.8	7.6
1(0)		111(21) CA9(2),CB5(2),E30(1),E 6(4),E7(6),E9(1),EV71(1) ,Mumps(3),ParvoB19(1) ,Rhino(1) <<2重複1>>	2(0)	2(0)				177(48)	7.3	27.1
3(3) HBov(2),PIV2(1),PIV3(1),Rhino(2) <<2重複1>><<3重複 1>>		2(0)	1(0)	1(0)				183(91)	7.5	49.7
37(27) HBov(2),Hcov- NL63(2),Hcov- OC43(2),hMPV(4),PIV2 (2),PIV3(4),Rhino(17),R S_untype(3) <<2重複5>><<3重複 2>>		3(0)	2(0)	1(0)			2(0)	540(383)	22.1	70.9
1(0)		1(0)					3(2) Hbov(1),RS, untype(1)	42(31)	1.7	73.8
	5(2) Ad54(2)							8(2)	0.3	25.0
3(2) Rhino(1),RSuntype(1)	1(0)	61(1) HHV6B(1)	56(23) dengue1(6) ,dengue2 (5),HHV6u ntype(1), ParvoB19 (1),rubella (10)	39(12) rubella(12)			2(0)	535(139)	21.9	26.0
53(34)	6(2)	212(25)	97(31)	70(22)		5(3)	7(2)	2440(1241)	100.0	50.9
2.2	0.2	8.7	4.0	2.9		0.2	0.3	100.0		
64.2	33.3	11.8	32.0	31.4		60.0	28.6	50.9		

PIVパラインフルエンザ

2 細菌検査情報

1) 大阪府内で届け出のあった一類、二類（結核を除く）および三類感染症の病原菌検出状況（表5～8）

大阪府ではこの1年間にペスト（一類感染症）、ジフテリア（二類感染症）は発生しなかった。三類感染症は以下のとおりである。

1. コレラ：輸入症例が1例で、コレラ菌 O1 エルトール小川型であった。
2. 細菌性赤痢：29例あり、5例が輸入症例であった。国内発生の集団事例が1例あった。
3. 腸チフス：1例あり輸入症例であった。
4. パラチフス：4例あり2例が輸入症例であった。
5. 腸管出血性大腸菌：249症例あり、104症例が血清群 O157 であった。HUS 患者は3例であった。血清群 O26 で集団事例が1例あった。

2) 五類感染症の病原菌検出状況（大阪府立公衆衛生研究所の成績）：（表9-1～9-4）

定点医療機関に病原体サーベイランスについての冊子および検体輸送用のシードスワブを配布し、検体採取の依頼を行った。表には月別の検出数を示した。

表5 大阪府における一類、二類および三類感染症の病原菌検出状況（平成24年）

類型	感染症名	大阪府内計	大阪府内再掲				
			大阪府	大阪市	堺市	高槻市	東大阪市
一類感染症	ペスト	0					
二類感染症 (結核除く)	ジフテリア	0					
三類感染症	コレラ	1(1)	1(1)				
	細菌性赤痢	29(5)	21(2)	8(3)			
	腸チフス	1(1)	1(1)				
	パラチフス	4(2)	4(2)				
	腸管出血性 大腸菌感染症	249(3)	58(3)	165	12	6	8
() 内は輸入例数再掲。							

表 6 赤痢菌の菌型

菌型	大阪府内計	大阪府内再掲	
		大阪府	大阪市
<i>S. flexneri</i> 2a	1(1)		1(1)
<i>S. boydii</i> 4	1(1)		1(1)
<i>S. sonnei</i>	27(3)	21(2)	6(1)

() 内は輸入例数再掲。

表 7 輸入症例の推定感染国（病原菌別集計）

病原菌	推定感染国	() 内数字は分離菌株数。
コレラ菌O1 Ogawa	インド	(1)
赤痢菌	<i>S. flexneri</i> 2a	インドネシア (1)
	<i>S. boydii</i> 4	インド (1)
	<i>S. sonnei</i>	インドネシア (1)、ベトナム (1)、モロッコ (1)
チフス菌	インド	(1)
パラチフスA菌	インド	(2)
腸管出血性大腸菌	中国(2)、ドイツ(1)	

表 8 腸管出血性大腸菌の血清群

血清群	VT型	大阪府内計		大阪府内再掲							
				大阪府		大阪市		堺市		高槻市	
		感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	感染者数	HUS	感染者数
O157	1&2	75	1	40	1	24		7	3		1
	2	25		7		11		2	2		3
	1	2		1							1
	不明	1				1					
O157抗体価陽性		1	1			1	1				
O157小計		104	2	48	1	37	1	9	5		5
O18		1		1							
O26		129		3		125		1			
O88		1		1							
O91		2		1		1					
O103		4				2		1			1
O111		1		1							
O113		1		1							
O121		1		1							
O145		1									1
O148		1		1							
OUT: H11		1						1			
O157以外小計		143		10		128		3			2
O群 不明		1									1
便でのペロ毒素検出		1	1						1	1	
合計		249	3	58	1	165	1	12	6	1	8

3) 継続調査病院からの細菌検査情報：(表 10-1 ~ 10-8)

4病院(箕面市立病院、市立吹田市民病院、府立呼吸器・アレルギー医療センター、りんくう総合医療センター)から情報提供を受けた、平成24年の成績を集計して以下の成績を得た。

(1) 消化器系材料(表 10-1)

糞便から検出された病原菌の総数は276株であり、黄色ブドウ球菌110株が最も多く検出された。

(2) 呼吸器系材料(表 10-4、10-7)

呼吸器系材料から検出された病原菌は5,123株で、結核菌974株と黄色ブドウ球菌1,245株が多数を占めた。

(3) 泌尿生殖器系材料(表 10-5、10-8)

材料別にみて83%が尿からの検出株であるが、検出菌2,664株のうち大腸菌908株が最も多かった。

(4) 血液(表 10-6)

血液からの検出菌は631株であり、菌種ごとの検出数は大腸菌265株、コアグラールゼ陰性ブドウ球菌163株、黄色ブドウ球菌98株の順であった。

(5) 穿刺液・髄液(表 10-2、10-3)

穿刺液からは124株が検出され、黄色ブドウ球菌が35株で最も多く検出された。

髄液からは4株検出され、黄色ブドウ球菌が2株、肺炎球菌が2株であった。

4) レンサ球菌調査(大阪府立公衆衛生研究所の成績 平成24年)

大阪府内の病院においてレンサ球菌感染症患者から分離されたA群溶血性レンサ球菌11株および近畿地区内(滋賀、京都、大阪、兵庫)で発生した劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者から分離されたレンサ球菌19株、計30株について解析を実施した(表11)。

レンサ球菌感染症患者から最も多く分離された血清型は12型であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の平成24年届出数の全国集計は242例、そのうち近畿地区内では滋賀3例、京都9例、大阪7例、兵庫5例、奈良1例、計25例の届出があ

った。25例のうち菌株の確保できた19例について解析を実施、結果を表12に示した。内訳はA群溶血性レンサ球菌が14株、G群溶血性レンサ球菌が5株であり、A群溶血性レンサ球菌の血清型では1型とB3264型が多かった。国立感染症研究所が全国から収集した劇症患者分離株も1型が最も多く(38.1%)、それに次いでG群による症例が多かった(23.7%)。

(文責：田口)

表9 五類感染症の病原菌検出状況（検体受付月別検出数）

表9-1 診断名：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

検出病原体	T型	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	1												1
<i>Streptococcus pyogenes</i>	4	1											1	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	12	4	1				1						2	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	B3264	1										1		
<i>Streptococcus pyogenes</i>	型別不能	1										1		
	合計	8	1				1					2	3	1

表9-2 診断名：感染性胃腸炎

検出病原体	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<i>Salmonella</i> Enteritidis	4					1	2	1					
<i>Salmonella</i> Braenderup	1							1					
<i>Salmonella</i> Colindal	1								1				
<i>Salmonella</i> Narashino	1										1		
<i>Salmonella</i> Rissen	1									1			
<i>Salmonella</i> Saintpaul	1								1				
<i>Salmonella</i> Tennessee	1									1			
<i>Salmonella</i> Weltevreden	1												1
	合計	11				1	2	2	2	2	1		1

表9-3 診断名：百日咳（疑いを含む）

検出病原体	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		（ ）：遺伝子検出で陽性とした数を再掲											
<i>Bordetella pertussis</i>	11(4)	2(1)			1	1(1)	2(1)	1	2		1(1)	1	
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	1(1)												1(1)
	12	2			1	1	2	1	2		1	1	1

表9-4 診断名：マイコプラズマ感染症

検出病原体	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		（ ）：遺伝子検出で陽性とした数を再掲											
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	2(2)	1(1)	1(1)										

表 10 4 病院* 集計による病原菌検出情報

表10 4 病院 (箕面市立・市立吹田市民・府立呼吸器アレルギー・りんくう総合) 集計による病原菌検出状況報告

表10-1 分離材料：糞便

分離材料：糞便 (つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
003	<i>Salmonella</i> Typhi		026	<i>Clostridium botulinum</i> ,E	
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A	1	027	<i>Clostridium botulinum</i> ,E 以外	
006	<i>Salmonella</i> 04(B)		028	<i>Bacillus cereus</i>	3
007	<i>Salmonella</i> 07(C1,C4)	1	263	<i>Bacillus thuringiensis</i>	1
008	<i>Salmonella</i> 08(C2,C3)		041	<i>Entamoeba histolytica</i>	
009	<i>Salmonella</i> 09(D1)	5	092	<i>Escherichia coli</i> 組織侵入性	
010	<i>Salmonella</i> 09,46(D2)		093	<i>Escherichia coli</i> 毒素原性	
201	<i>Salmonella</i> 03,10(E1,E2,E3)		094	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型	1
013	<i>Salmonella</i> 01,3,19(E4)		305	<i>Escherichia coli</i> EHEC/VTEC	3
014	<i>Salmonella</i> 013(G1,G2)		095	<i>Escherichia coli</i> その他・不明	45
015	<i>Salmonella</i> 018(K)			<i>Shigella dysenteriae</i> 型()	
016	<i>Salmonella</i> その他			<i>Shigella dysenteriae</i> 型()	
017	<i>Salmonella</i> 群不明	5		<i>Shigella flexneri</i> 型()	
018	<i>Yersinia enterocolitica</i>			<i>Shigella flexneri</i> 型()	
019	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>			<i>Shigella boydii</i> 型()	
405	<i>Vibrio cholerae</i> ,01:Eltor,Ogawa,CT(+)			<i>Shigella boydii</i> 型()	
406	<i>Vibrio cholerae</i> ,01:Eltor,Ogawa,CT(-)		090	<i>Shigella sonnei</i>	
407	<i>Vibrio cholerae</i> ,01:Eltor,Inaba,CT(+)		091	<i>Shigella</i> 群不明	
408	<i>Vibrio cholerae</i> ,01:Eltor,Inaba,CT(-)			合 計	276
409	<i>Vibrio cholerae</i> ,0139CT(+)		表10-2 分離材料：穿刺液 (胸水、腹水、関節液など)		
410	<i>Vibrio cholerae</i> ,0139CT(-)		コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
411	<i>Vibrio cholerae</i> ,01&0139以外		001	<i>Escherichia coli</i>	37
022	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	3	119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	6
104	<i>Vibrio fluvialis</i>		118	<i>Haemophilus influenzae</i>	1
115	<i>Vibrio mimicus</i>	1	030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
206	<i>Aeromonas hydrophila</i>	8	102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	13
207	<i>Aeromonas sobria</i>	1	163	<i>Mycobacterium</i> spp.	2
111	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		024	<i>Staphylococcus aureus</i>	35(18)*
101	<i>Plesiomonas shigelloides</i>	1	421	<i>Staphylococcus</i> コアグラーズ陰性	9
208	<i>Campylobacter jejuni</i>		038	<i>Sterptococcus pneumoniae</i>	
209	<i>Campylobacter coli</i>		422	<i>Anaerobes</i>	21
023	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず	87	125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	110(67)*		合 計	124
025	<i>Clostridium prefringens</i>				

(*)*:MRSA再掲

表10-3 分離材料：髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	2(1)*
032	<i>Sterptococcus B</i>	
038	<i>Sterptococcus pneumoniae</i>	2
	合計	4

表10-4 分離材料：咽頭及び鼻咽頭からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
037	<i>Bordetella pertussis</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	700
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
031	<i>Sterptococcus A</i>	71
038	<i>Sterptococcus pneumoniae</i>	476
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>	
	合計	1247

表10-5 分離材料：尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	908
176	<i>Enterobacter spp.</i>	76
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	168
423	<i>Acinetobacter spp.</i>	4
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	173
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	181(113)*
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラウゼ [®] 陰性	156
424	<i>Enterococcus spp.</i>	471
425	<i>Candida albicans</i>	71
	合計	2208

表10-6 分離材料：血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	265
003	<i>Salmonella Typhi</i>	
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>	1

分離材料：血液（つづき）

426	<i>Salmonella spp.</i>	3
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	4
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	35
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	98(52)*
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラウゼ [®] 陰性	163
032	<i>Sterptococcus B</i>	11
038	<i>Sterptococcus pneumoniae</i>	24
422	<i>Anaerobas</i>	27
042	<i>Plasmodium spp.</i>	
	合計	631

表10-7 分離材料：喀痰気管支吸引液及び
下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	974
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	302
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	349
039	<i>Legionella pneumophila</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	740
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	1245(658)*
031	<i>Sterptococcus A</i>	20
032	<i>Sterptococcus B</i>	60
038	<i>Sterptococcus pneumoniae</i>	182
422	<i>Anaerobes</i>	4
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	合計	3876

表10-8 分離材料：陰部尿道頸部擦過（分泌）物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	7
032	<i>Sterptococcus B</i>	226
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	
124	<i>Uraeplasma</i>	
425	<i>Cacdda albicans</i>	223
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>	
	合計	456

(*)*:MRSA再掲

表 11 レンサ球菌検査成績

	Streptococcus pyogenes (A群溶血性レンサ球菌) 血清型 (T型)													Sagalactiae	S.dysgalactiae subsp. equisimilis	
	検査菌株数													B群	G群	
	1	3	4	9	11	12	13	22	25	28	B3264	UT*	不明	A群小計	B群	G群
レンサ球菌感染症	11	1	1			6					1	2		11		
(%)	(9.1)		(9.1)			(54.5)					(9.1)	(18.2)		(100)		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (近畿)	19	6				1					5	2		14		5
(%)	(31.6)					(5.3)					(26.3)	(10.5)		(73.7)		(26.3)
合計	30	7	1			7					6	4		25		5
*: 血清型別不能																
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (全国) (近畿含む)	139	53	2	1	1	7	2	1	1	8	19	7	2	104	2	33
(%)	(38.1)	(14)		(0.7)	(0.7)	(5.0)	(1.4)	(0.7)	(0.7)	(5.8)	(13.7)	(5.0)	(1.4)	(74.8)	(1.4)	(23.7)

表 12 劇症型溶血性レンサ球菌感染症例

初診年月日	性別	年齢	発生区域	菌種	血清群	血清型 T型	emm 型	薬剤感受性	spe 遺伝子	転帰	備考
1 2012.01.03	66 男	京都市	S. pyogenes	A	1	1.0	EM耐性(mefA)	speA, speB	死亡		
2 2012.01.03	60 女	京都市	S. pyogenes	A	1	1.0	EM耐性(mefA)	speA, speB	軽快		
3 2012.12.08	83 男	神戸市	S. pyogenes	A	B3264	89.0	感受性	speB, speC	救命		
4 2012.01.02	32 女	神戸市	S. pyogenes	A	1	1.0	感受性	speA, speB	死亡		
5 2012.02.07	75 男	大阪府	S. pyogenes	A	型別不能	58.7	MINO耐性	speB	死亡		
6 2012.02.01	65 女	兵庫県	S. pyogenes	A	B3264	89.0	感受性	speB, speC	軽快		
7 2012.02.08	77 男	滋賀県	S. pyogenes	A	12	12.7	EM耐性(mefA)	speB	死亡		
8 2012.03.26	75 女	神戸市	Streptococcus	G		stG245.0	EM,CLDM耐性(ermB) MINO低感受性		救命		
9 2012.05.18	68 女	高槻市	Streptococcus	G		stG652.5	感受性		軽快		
10 2012.05.05	58 男	神戸市	S. pyogenes	A	B3264	89.0	感受性	speB, speC	救命		
11 2012.06.05	70 男	京都市	S. pyogenes	A	1	1.0	EM耐性(mefA)	speA, speB	軽快		
12 2012.06.29	74 男	滋賀県	Streptococcus	G		stG653.0	感受性		死亡		
13 2012.08.03	30 女	大阪市	S. pyogenes	A	型別不能	102.3	MINO耐性	speB	治癒	出産後	
14 2012.07.21	65 女	京都市	S. pyogenes	A	B3264	89.0	CPFX低感受性	speB, speC	死亡		
15 2012.08.05	38 男	京都市	S. pyogenes	A	1	1.0	感受性	speA, speB	軽快		
16 2012.09.19	24 女	堺市	S. pyogenes	A	B3264	89.0	感受性	speB, speC	不明	出産後	
17 2012.11.11	45 男	大阪市	S. pyogenes	A	1	1.0	EM耐性(mefA)	speA, speB	死亡		
18 2012.11.09	71 男	大阪府	Streptococcus	G		stG245.0	EM,CLDM耐性(ermB) MINO耐性		救命		
19 2012.12.11	84 男	堺市	Streptococcus	G		stG2078.0	感受性		救命		